



2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年8月9日
東

上場会社名 株式会社オーハシテクニカ 上場取引所
 コード番号 7628 URL <https://www.ohashi.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 柴崎 衛
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画部長 (氏名) 中村 佳二 (TEL) 03-5404-4420
 四半期報告書提出予定日 2022年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	8,276	△4.3	557	△26.2	635	△25.4	452	△25.2
2022年3月期第1四半期	8,653	31.8	754	102.9	852	109.2	604	118.3

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 1,648百万円(3.3%) 2022年3月期第1四半期 1,595百万円(-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	33.17	—
2022年3月期第1四半期	42.64	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	44,360	34,347	76.5
2022年3月期	43,352	33,448	76.3

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 33,921百万円 2022年3月期 33,060百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	26.00	—	31.00	57.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	28.00	—	29.00	57.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 2. 2022年3月期 期末配当金の内訳 普通配当26円00銭 70周年記念配当5円00銭

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	34,500	6.0	2,500	10.0	2,700	6.4	1,900	6.1	141.12

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2023年3月期1Q	14,178,960株	2022年3月期	14,178,960株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2023年3月期1Q	664,828株	2022年3月期	412,473株
------------	----------	----------	----------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2023年3月期1Q	13,631,191株	2022年3月期1Q	14,170,288株
------------	-------------	------------	-------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想のご利用に当たっては、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の世界経済は、前期から続く半導体及びその他部品の供給不足に上海ロックダウンの影響も加わり、様々な製造業で生産調整や生産停止の動きが拡大致しました。また、ウクライナをめぐる国際情勢の悪化などにより、原材料価格の値上がりや海上輸送費の高騰も収束には時間を要する見込みで、世界経済の見通しは依然として不透明な状況にあります。

当社グループの事業分野であります自動車業界におきましては、半導体及びその他部品の供給不足を主因とした生産調整や生産停止が継続しており、日系自動車メーカーのグローバル生産台数は、前年を下回る実績となりました。

このような状況下、当社グループでは事業基盤の強化と経費削減等による経営効率化に取り組んでまいりましたが、連結売上高は海外での円安に伴う為替換算によるプラス影響があったものの、国内での半導体及びその他部品の供給不足等による自動車メーカー各社の生産調整の影響が大きく、前年同期比減収となりました。連結営業利益についても、国内での売上減少と原材料価格の値上がりや海上輸送費の高騰が継続している影響が大きく、前年同期比減益となりました。

当第1四半期連結累計期間の売上高は8,276百万円(前年同期比4.3%減)、営業利益は557百万円(同26.2%減)、経常利益は635百万円(同25.4%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は452百万円(同25.2%減)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。(セグメント売上高は、外部顧客に対するものであり、セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。)

[日本]

半導体不足と東南アジア及び中国からの部品供給の停滞等による主力得意先メーカーの生産調整の影響が大きく、売上高は4,085百万円(前年同期比12.7%減)となりました。セグメント利益は、売上の減少と原材料価格の値上がりの影響が継続し、150百万円(前年同期比61.6%減)となりました。

[米州]

世界的な半導体の供給不足が主要得意先メーカーの生産に影響を与えてはいるものの、新規受注品の寄与や円安に伴う為替換算の影響により、売上高は1,791百万円(前年同期比2.6%増)となりました。セグメント利益は、海上輸送費は依然高止まりしているものの、円安による仕入れコストの削減等により、84百万円(前年同期比15.6%増)となりました。

[中国]

世界的な半導体の供給不足が主要得意先メーカーの生産に影響を与えてはいるものの、新規受注品の寄与や円安に伴う為替換算の影響により、売上高は1,380百万円(前年同期比8.7%増)となりました。セグメント利益は、原材料価格の値上がり等により、180百万円(前年同期比12.6%減)となりました。

[アセアン]

主要得意先の生産回復と新規受注品の寄与により、売上高は720百万円(前年同期比9.0%増)となりました。セグメント利益は、原材料価格の値上がり等により、99百万円(前年同期比22.3%減)となりました。

[欧州]

世界的な半導体の供給不足が主要得意先メーカーの生産に影響を与えてはいるものの、新規受注品の寄与や円安に伴う為替換算の影響により、売上高は298百万円(前年同期比0.6%増)となりました。セグメント利益は、主要得意先との取引条件の改善により、72百万円(前年同期はセグメント損失7百万円)となりました。

[台湾]

台湾大橋精密股份有限公司は、グループ間取引のみのため、外部顧客への売上高はありません。

グループ会社向けの輸出は減少しましたが、セグメント利益は、輸出条件の見直し等により、12百万円(前年同期はセグメント損失18百万円)となりました。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の連結業績予想につきましては、2022年5月12日の「2022年3月期決算短信」で公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	20,209,010	20,338,702
受取手形、売掛金及び契約資産	6,514,852	6,849,613
商品及び製品	5,874,528	6,172,632
仕掛品	585,706	622,396
原材料及び貯蔵品	789,212	883,817
その他	634,632	515,181
貸倒引当金	△6,986	△7,849
流動資産合計	34,600,956	35,374,494
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	5,114,731	5,281,404
減価償却累計額	△2,638,692	△2,781,136
建物及び構築物(純額)	2,476,039	2,500,267
機械装置及び運搬具	8,677,350	9,134,425
減価償却累計額	△7,198,719	△7,592,658
機械装置及び運搬具(純額)	1,478,630	1,541,766
工具、器具及び備品	3,706,101	3,763,988
減価償却累計額	△3,338,823	△3,395,680
工具、器具及び備品(純額)	367,278	368,307
土地	1,392,174	1,423,705
建設仮勘定	375,833	501,827
有形固定資産合計	6,089,955	6,335,874
無形固定資産		
ソフトウェア	127,986	115,649
その他	53,244	56,040
無形固定資産合計	181,231	171,689
投資その他の資産		
投資有価証券	1,712,029	1,701,425
繰延税金資産	280,483	288,635
その他	489,434	490,603
貸倒引当金	△1,600	△1,800
投資その他の資産合計	2,480,347	2,478,864
固定資産合計	8,751,534	8,986,428
資産合計	43,352,490	44,360,923

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,864,862	3,114,830
電子記録債務	4,805,599	4,717,921
未払法人税等	387,358	198,250
賞与引当金	180,878	132,022
役員賞与引当金	44,100	14,600
その他	864,813	1,053,653
流動負債合計	9,147,612	9,231,279
固定負債		
繰延税金負債	621	4,414
退職給付に係る負債	615,864	619,086
その他	139,824	159,071
固定負債合計	756,311	782,572
負債合計	9,903,923	10,013,851
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,825,671	1,825,671
資本剰余金	1,611,240	1,611,240
利益剰余金	28,398,043	28,422,989
自己株式	△567,932	△890,750
株主資本合計	31,267,022	30,969,150
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	293,984	277,281
為替換算調整勘定	1,464,438	2,641,529
退職給付に係る調整累計額	34,981	33,963
その他の包括利益累計額合計	1,793,404	2,952,774
非支配株主持分	388,139	425,146
純資産合計	33,448,566	34,347,071
負債純資産合計	43,352,490	44,360,923

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)
売上高	8,653,157	8,276,907
売上原価	6,561,732	6,289,393
売上総利益	2,091,425	1,987,514
販売費及び一般管理費	1,336,587	1,430,278
営業利益	754,837	557,235
営業外収益		
受取利息	9,475	8,148
受取配当金	15,822	17,606
持分法による投資利益	14,177	12,125
為替差益	6,522	4,094
作業くず売却益	13,925	18,073
補助金収入	45,727	17,679
その他	5,541	4,802
営業外収益合計	111,193	82,530
営業外費用		
支払利息	1,780	2,433
開業費	11,866	—
自己株式取得費用	285	967
その他	68	571
営業外費用合計	14,001	3,972
経常利益	852,029	635,793
特別利益		
固定資産売却益	1,594	311
特別利益合計	1,594	311
特別損失		
固定資産除却損	73	672
特別損失合計	73	672
税金等調整前四半期純利益	853,549	635,433
法人税、住民税及び事業税	260,088	171,734
法人税等調整額	△20,522	4,739
法人税等合計	239,565	176,474
四半期純利益	613,983	458,959
非支配株主に帰属する四半期純利益	9,747	6,789
親会社株主に帰属する四半期純利益	604,236	452,169

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	613,983	458,959
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	36,272	△17,464
為替換算調整勘定	946,681	1,207,308
退職給付に係る調整額	△1,512	△1,018
持分法適用会社に対する持分相当額	167	761
その他の包括利益合計	981,609	1,189,587
四半期包括利益	1,595,593	1,648,546
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,564,084	1,611,539
非支配株主に係る四半期包括利益	31,509	37,007

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2021年11月10日開催の取締役会決議に基づき、自己株式252,200株の取得を行っております。この結果、当第1四半期連結累計期間において、自己株式が322,817千円増加し、当第1四半期連結会計期間末において自己株式が890,750千円となっております。

(追加情報)

(会計上の見積りに対する新型コロナウイルス感染症の影響について)

当第1四半期連結累計期間において、前連結会計年度の有価証券報告書の「第5 経理の状況 注記事項(重要な会計上の見積り)」に記載のとおり、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する仮定については、重要な変更はありません。

しかしながら、今後の新型コロナウイルス感染症の拡大により当社グループの事業に大きな影響を与える変化が生じた場合には、固定資産の減損及び繰延税金資産の回収可能性等の見積りに影響を与える可能性があります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント							調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	日本	米州	中国	アセアン	欧州	台湾	計		
売上高									
外部顧客への 売上高	4,679,659	1,745,800	1,270,064	661,094	296,538	—	8,653,157	—	8,653,157
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	767,126	3,226	25,410	6,695	—	237,991	1,040,449	△1,040,449	—
計	5,446,785	1,749,026	1,295,475	667,789	296,538	237,991	9,693,606	△1,040,449	8,653,157
セグメント利益又は損 失(△)	392,342	72,691	206,797	127,999	△7,099	△18,803	773,927	△19,090	754,837

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△19,090千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント							調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	日本	米州	中国	アセアン	欧州	台湾	計		
売上高									
外部顧客への 売上高	4,085,345	1,791,983	1,380,532	720,782	298,263	—	8,276,907	—	8,276,907
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	501,016	815	27,326	43,182	—	200,003	772,344	△772,344	—
計	4,586,362	1,792,798	1,407,858	763,965	298,263	200,003	9,049,251	△772,344	8,276,907
セグメント利益	150,480	84,000	180,672	99,402	72,272	12,378	599,205	△41,970	557,235

(注) 1. セグメント利益の調整額△41,970千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。